

迎春



佐賀市長
秀島敏行

あけましておめでとうございます。市民のみなさまには、輝かしい平成28年の幕開けを健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、佐賀市の自然や歴史といった地域資源が世界に認められた嬉しい年となりました。

5月に渡り鳥のシギ・チドリ類の飛来数が日本一の「東よか干潟」が、ラムサール条約湿地に登録されました。また、7月には日本初の実用蒸気船が造られた「三重津海軍所跡」が、九州を中心とする他の産業遺産とともに世界文化遺産に登録されました。今後、これらの資源を地域の活性化に生かすための取り組みを進めていきます。

今年も、市民のみなさまと一体となり、本市の魅力アップに全力で取り組んでまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。



佐賀市議会議長
福井章司

あけましておめでとうございます。市民のみなさまには、清々しい新年をお健やかに迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、5月に本市出身の濱田真由選手が日本人初となるテコンドー世界選手権優勝、「東よか干潟」のラムサール

条約湿地登録、そして7月に史跡「三重津海軍所跡」の世界遺産登録など、新佐賀市が誕生して10年となる年に相応しい郷土に活力を与える嬉しい話題が続いた一年でした。また本市では、これからの10年を見据えたまちづくりのために「第2次総合計画」を策定し、人口減少や少子高齢化を克服するために、地方創生を掲げる国の総合戦略を踏まえ「佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

本年は、これらの計画に基づく諸政策の実現に向け、執行部との議論を深めながら、様々な事業の推進に全力を挙げてゆく所存です。また、議会改革を更に推進し、市民のみなさまにわかりやすく、信頼される「ひらかれた議会」となるよう、この一年も鋭意努力してまいります。

本年が、市民のみなさまにとりまして、幸せで実り多き年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。